

学校教育目標

- ◎自己の可能性を信じ、何事にも主体的にチャレンジする生徒の育成
- ◎広い視野を持ち、地域社会の形成にすすんで参画できる生徒の育成

普通科

笛吹高校の3年間で身に付けてほしい力

- ・自己の進路目標を明確に持ち、その目標の実現に向けて努力を行う強い心
- ・日々の授業を大切にし、基礎・基本となる学力の定着に努める意欲
- ・自己の時間管理を行い、毎日の継続的な家庭での学習習慣を身につける態度
- ・上級学校のオープンキャンパスやホームページ等を活用して、進路目標の実現に向けて自ら情報収集を行う積極性

1年次の目標

- ・自己と向き合い将来の進路について考える中で、文系・理系の選択に向けた調査を行い、各科目の内容を理解した上で文理の決定を行う
- ・基礎基本の定着に向けた家庭学習時間の確保
- ・各科目の特性を理解し、家庭学習において取り組むべき内容を理解する

2年次の目標

- ・具体的な進路目標の設定を行うことで、3年次に向けた科目履修登録に備える
- ・文系、理系の専門科目が増えていく中で、家庭における学習の積み重ねの大切さを再認識する

3年次の目標

- ・1、2年次に身につけた力をもとに、発展的内容を習得することに意欲的に取り組む
- ・進路実現に向けて日々の授業を大切にしながら、家庭学習により一層の努力を行う

学ぶ皆さんへの助言・アドバイス

5教科の授業は学年が上がるにつれて難易度が増していきます。授業での積み残しが無いように1時間、1時間を大切にしてください。分からないことをそのままにしておくことが最も良くない態度です。「ある授業の内容が理解できない」→「次の授業が更に分からない」→……という負のスパイラルに陥らないよう、授業中や授業後に先生に質問をして理解することに努めましょう。

自己の進路実現に向けて各学年に応じた進路意識が大切です。1年生では将来の「進路分野・方面」、2年生では「具体的な志望校の決定」が最低ラインです。進路目標がはっきりとすることで、日々の授業に対する意欲も変わってくるはずです。自己と向き合い、将来を見つめることが高校生にとって大切なこととなります。

自己の進路実現に向けて日々の授業を大切にし、家庭学習の習慣をつけ、模擬試験で力試しを行い、出来なかったことを家庭学習や先生に質問をして補っていく、という生活ができるようにしましょう。

	教科	科目	
1	国語	現代文B	
2	国語	古典B	
3	地理歴史	地理B	
4	保健体育	体育	
5	外国語	コミュニケーション英語Ⅲ	
6	外国語	英語表現Ⅱ	
7	数学	数学Ⅲ	選択1
8	国語	国語表現	選択1
9	数学	数学探究	
10	理科	物理	選択2
11	理科	生物	選択2
12	理科	理科探究・物理	選択3
13	理科	理科探究・化学	選択3
14	理科	理科探究・生物	選択3

平成30年度 年間シラバス (生徒配布用)

教科・科目		国語・現代文B		単位	2	履修区分	必修	
対象学年・類型・コース			3年 普通科 理系					
使用教科書			『新編 現代文B』教育出版					
目標とする生徒の将来像			近代以降の様々な文章を的確に理解できること。語句の読み書きや意味、慣用句等を適切に使えるよう知識を高め、ものの見方、感じ方、考え方を深めていく。また、読書に興味関心を持ち、人生を豊かにする態度を育ててほしい。					
評価の観点			①関心・態度・意欲：国語で理解し表現する力を養うために向上心をもって取り組んでいるか。 ②話す・聞く力：目的や場に応じて効果的に話したり的確に聞き取ったりして、自分の考えを深め、発展させているか。 ③書く力：必要な情報を用い、相手や目的、課題に応じた適切な表現による文章を書き、自分の考えを深め、発展させているか。 ④読む力：文章を的確に読み取ったり、目的に応じて幅広く読んだりして、自分の考えを深め、発展させているか。 ⑤知識・理解：言語文化及び言葉の特徴や決まり等の理解を深め、知識を身に付けているか。					
学期	期間	単元・教材	主たる目標・付きたい力	主たる評価の観点・方法	自己評価			
1 学期	第1回定期試験	○日本社会の特徴を知り、社会人像を意見文にしよう 「『である』ことと『する』こと」 ○登場人物の心理を考え、小説の結末の意味を話そう 「土神と狐」	・筆者の主張を的確に読み取り、概念や論理を現実の事象に当てはめて説明できる ・土神の心理をたどりながら結末の場面の意味を考察することができる	③「である」と「する」ということ基準を適用し、意見文を書くことができたか ②狐の死と、土神の泪の意味を考え、説明しているか	ABC評価及び相互評価による添削相互評価			
	第2回定期試験	○現代(資本)社会における私たちの衝動や欲望について考えよう 「欲望と資本主義」	・「欲望」発生のメカニズムと市場経済の動きがどのように連動しているかを考察することができる	④「欲望」と「資本主義」の意味を捉え、具体的事例を想起して意見を述べているか	ABC評価			
2 学期	第3回定期試験	○多角的視点から作品の主題を考える方法を学ぼう 「高瀬舟」「高瀬舟縁起」「流人の話」	・「高瀬舟縁起」「流人の話」を読み、主題を見つけることができる	②作品の主題を考え、説明しているか	ABC評価			
	第4回定期試験	○常識的な見方や考え方を打ち破る思考に挑戦しよう ○作品の背景を理解しながら詩に込められた感情を味わってみよう 「樹下の二人」「表札」	・文章の構成や論理の展開を正確におさえながら筆者の主張を正しく理解できる ・詩の背景と作者の心情を理解できる ・アイデンティティという概念を理解し、「表札」という題で詩を作ることができる	④完璧美として欠落するミロのヴィーナスがなぜ人々に感動を与えるのかを説明している ①高村光太郎の妻・智恵子への愛情について考えようとしているか ③一個人としての「精神の在り場所」を理解した詩の創作か	ABC評価 ABC評価 ABC評価			
3 学期	第5回定期試験	○寓話から現代社会の問題点を俯瞰しよう	・「靴」は何を意味するのかを考え、作品のテーマを読み取る	④作品の寓意と、「自由」の説明をしているか	ABC評価			
検定資格(時期) 諸費用(予定)		学校では、日本漢字能力検定を年3回(7月・10月・2月)実施。校外においても受験できるので積極的に挑戦してください。検定料は、級によって異なりますが2,000円~3,500円。						
履修にあたって		板書をノートに写す作業は学習の一部にすぎません。本文に根拠を求め、「自分の考えを深め、発展させる」ことが求められています。自分なりの意見や考えをまとめ、発言できる訓練をしてください。また、自分の読解力を評価する手段として模試を受けましょう。						

平成30年度 年間シラバス (生徒配布用)

教科・科目		国語・古典B		単位	2	履修区分	必履修	
対象学年・類型・コース			3年普通科理系					
使用教科書			『精選 古典B』三省堂					
目標とする生徒の将来像			古典を読む能力を養うとともに、ものの見方、感じ方、考え方を広くし、人生を豊かにする態度を育むことができる。さらに、将来にわたって古典に親しむ姿勢がある。					
評価の観点			①関心・態度・意欲：古典を読む力を高め、古典への理解や関心を深めようとしているか。 ②読む能力：古典に表された思想や感情を捉え、自分の考えを深め、発展させているか。 ③知識・理解：伝統的な言語文化及び言葉の特徴などの理解を深め、知識を身に付けているか。					
学期	期間	単元・教材	主たる目標・付けたい力	主たる評価の観点・〈方法〉	自己評価			
1 学期	第1回定期試験	○清少納言の見た宮廷生活とはどんな世界か 「木の花は」 「二月のつごもりごろに」 「大納言殿参り給ひて」	・筆者の美意識や機知を読み取り、豊かなものの見方ができる	②筆者の美意識や機知を読み取ることができたか 〈記述の確認〉	ABC 評価			
	第2回定期試験	○『三国志』の世界を知ろう 「三往乃見」 「進遇於赤壁」 ○日記から筆者の人物像を想像してみよう 蜻蛉日記「うつろひたる菊」	・登場人物の言動や心理などを的確に読み取ることができる ・作者のものの感じ方を通して、その心情を理解できる	②それぞれの場面に描かれた人間像を読み比べようとしている 〈記述の確認〉 ②作者のものの感じ方を整理し、その心情を比較している 〈記述の確認〉	ABC 評価 相互評価			
2 学期	第3回定期試験	和泉式部日記「夢よりもはかなき世の中を」 紫式部日記「和泉式部と清少納言」						
	第4回定期試験	○和歌の本質を考えよう 「古今和歌集仮名序」 ○主人公「杜子春」の人間性を理解しよう 「杜子春伝」	・筆者が主張する和歌の本質と効用を的確に読み取ることができる ・芥川龍之介「杜子春」と読み比べ、共通点や相違点などについて説明できる	①和歌に対する筆者の感じ方や考え方を理解しようとしている 〈行動の観察〉 ②共通点や相違点などについてまとめている 〈記述の確認〉	ABC 評価 ABC 評価			
3 学期	第5回定期試験	○江戸時代に源氏物語はどう評価されたか 「源氏物語玉の小櫛」 ○江戸時代の人情に触れてみよう 「大晦日は合はぬ算用」	・本居宣長の解釈を理解することができる ・江戸時代の人々の生き方や、作者のまなざしについて考えることができる	①源氏物語への興味関心を深めようとしている 〈行動の観察〉 ②話の展開や登場人物の考え方を読み取っている 〈記述の確認〉	ABC 評価 ABC 評価			
履修にあたって		古語辞典や漢和辞典を使い、自分で現代語訳できる姿勢を身につけてほしい。また、授業のポイントを押さえたノート作りに取り組むこと。						

教科・科目		地理歴史・地理B	単位数	2	必修修・(必修)・選択
学年・系列・コース		3年 普通科(理系)			
使用教科書		新詳地理B・新詳高等地図	副教材	最新地理図表GEO	
目標とする生徒の将来像		空間的な視野から人間社会のあり方を把握し、さまざまな現代社会の問題に対する「考え方」を育成し、国際社会に主体的に生きる民主的、平和的な国家・社会の一員として必要な自覚と資質を養う。			
評価の観点		①授業中の関心・意欲・態度、発問に対する思考・判断(10%) ②まとめプリントやノートの作業・整理状況などの表現・処理(10%) ③定期考査による知識・理解(80%)			
学期	単元・教材	主たる目標・つけたい力			評価の観点
1 学期	II部 8節 世界を結ぶ交通・通信 9節 現代世界の貿易と経済圏 3章 人口、村落・都市 1節 世界の人口 2節 人口問題 3節 村落と都市 4節 都市・居住問題 4章 生活文化、民族・宗教 1節 生活文化 2節 民族と宗教 3節 現代世界の国家	・交通や通信の発達の状況や一体化の進行、地域差の拡大について、系統地理的に捉える視点や考察方法を理解し、その知識を身につけている。 ・貿易に関する用語や経済圏の組織、世界の貿易の特色や動向などについて、系統地理的に捉える視点や考察方法を理解し、その知識を身につけている。 ・世界人口の分布と動態、人口構成の特色と人口転換のしくみを、系統地理的に捉える視点や考察方法を理解し、その知識を身につけている。 ・発展途上国、先進国、日本について、人口問題の実態を系統地理的に捉える視点や考察方法を理解し、その知識を身につけている。 ・村落と都市の立地、発達、機能や日本の都市の特徴について、系統地理的に捉える視点や考察方法を理解し、その知識を身につけている。 ・発展途上国、先進国、日本の都市・居住問題の特徴や、解決への道筋について、系統地理的に捉える視点や考察方法を理解し、その知識を身につけている。 ・衣食住の分布や地域的差異の特徴や画一化の進行について、系統地理的に捉える視点や考察方法を理解し、その知識を身につけている。 ・世界の言語分布や宗教の特徴、生活との関わりについて、系統地理的に捉える視点や考察方法を理解し、その知識を身につけている。 ・国境と領域のきまり、さまざまな国家の分類について、系統地理的に捉える視点や考察方法を理解し、その知識を身につけている。			①②③
2 学期	4節 民族・領土問題 III部 1章 現代世界の地域区分 1節 地域区分とは何か 2節 地域区分のさまざまなスケール 2章 現代世界の諸地域 1節 地誌の考察方法 2節 東アジア 3節 東南アジア 4節 南アジア 5節 西アジアと中央アジア 6節 北アフリカとサハラ以南のアフリカ	・世界各地の民族・宗教や領土に関する問題を整理し、多文化共生の事例について、系統地理的に捉える視点や考察方法を理解し、その知識を身につけている。 ・地域にはどのような概念があるか、地域区分にはどのような方法があるかを理解し、その知識を身につけている。 ・大地域と小地域のスケールによる地域区分の違いの意義、有用性を理解し、その知識を身につけている。 ・東アジアの自然の特徴、日本との関係を含む中国や朝鮮半島の歴史的背景をふまえた地域の変容や実態、中国の人口増加と経済格差や中国・韓国の経済発展の実態などの地域的特色や地球的課題について、項目ごとに整理して静態的に考察する方法を理解し、その知識を身につけている。 ・東南アジアの自然の特徴、東南アジア諸国の多様性に富む文化や民族、歴史的背景をふまえた地域の変容の実態、ASEAN諸国にみられる農業の変化や工業の発展、地域格差や都市問題の実態など地域的特色や地球的課題について、項目ごとに整理して静態的に考察する方法を理解し、その知識を身につけている。 ・南アジアの自然の特徴、インドのヒンドゥー教を中心とした社会の歴史的背景をふまえた地域の変容の実態、インドの農業の発展と農村の変化、IT産業の発展の実態など地域的特色や地球的課題について、項目ごとに整理して静態的に考察する方法を理解し、その知識を身につけている。			①②③
3 学期	7節 ヨーロッパ 8節 ロシア 9節 アングロアメリカ 10節 ラテンアメリカ 11節 オセアニア 3章 現代世界と日本	・ヨーロッパの自然の特徴、産業革命以来の歴史的背景をふまえた地域の変容の実態、各地域の民族と宗教の特徴、EUを中心とした地域の結びつきと農業・工業の変化の実態などの地域的特色や地球的課題について、項目ごとに整理して静態的に考察する方法を理解し、その知識を身につけている。 ・アングロアメリカの自然の特徴、北西ヨーロッパからの移民が建国した歴史的背景をふまえた地域の変容の実態、アメリカ合衆国の移民国家としての人種・民族的特徴、大都市問題の実態、農業と工業の変化と実態、世界への経済・文化的影響、アメリカ合衆国とカナダの関係などの地域的特色や地球的課題について、項目ごとに整理して静態的に考察する方法を理解し、その知識を身につけている。 ・安定成長期を迎えた日本の特色や日本が抱える地理的な諸課題を理解し、その知識を身につけている。			①②③
検定資格(時期) 諸費用(予定)	なし				
履修にあたって	日頃から国内外の情勢に興味を持ち、知らない場所がでてきたらすぐに地図帳を開く習慣を身につけよう。それだけで世界に対する意識は変わるはず。また、私たちが生きる地域や世界に広く興味を持ち、よりよい生活を送るためにはどうしたらよいのかを考えよう。授業では、白地図作業があるので、色鉛筆を準備しておこう。				

平成30年度 年間シラバス (生徒配布用)

教科・科目		保健体育・体育		単位	2	履修区分	必履修	必修	選択
対象学年・類型・コース		3年普通科							
使用教科書		なし							
目標とする生徒の将来像		<ul style="list-style-type: none"> ・時間やルールを厳守し、率先して与えられた役割を確実にこなそうとする、責任感のある生徒。 ・運動の技能や知識を身につけ、高めていくために努力を継続することができる生徒。 ・積極的に活動に参加し、自己表現や他者への配慮などのコミュニケーションをとろうとする、信頼できる生徒。 							
評価の観点		<p>①【関心・意欲・態度】 時間やルールを守ることや、仲間とともに積極的に活動へ参加しようとしているか。</p> <p>②【思考・判断】 技能の向上のために、工夫したり、仲間と協力したりしているか。</p> <p>③【技能】 自己の身体を思い通りに扱い、正確な技能が発揮できているか。</p> <p>④【知識・理解】 技能が向上するための身体動作や運動の特性を理解し、知識を理解しているか。</p>							
学期	期間	単元・教材	主たる目標・付けたい力	主たる評価の観点・方法	自己評価				
1 学期	第1回定期試験	・体づくり運動（体力を高める運動、集合、整頓、列の増減、集団としての行動）	・基礎的な運動能力を身につける ・大きな声を出すとともに、迅速に集団としての協調的な動きができるようになる。	①観察 ②観察 ③テスト ④観察	A B C A B C A B C A B C				
	第2回定期試験	・球技選択 バスケ、バレー、バドミントン、卓球、テニス、サッカー、ソフトボール	・勝敗を競う楽しさや喜びを味わい、作戦や状況に応じた技能や仲間と連携した動きを高めてゲームが展開できる。	①観察 ②観察 ③テスト ④ワークシート	A B C A B C A B C A B C				
2 学期	第3回定期試験	・ペース走	・自己に適したペースを維持して走ったり、ペースの変化に対応して走ったりする。徐々に記録を向上させる努力をする。	①観察 ②観察 ③テスト ④ワークシート	A B C A B C A B C A B C				
	第4回定期試験	・球技選択 バスケ、バレー、バドミントン、卓球、テニス、サッカー、ソフトボール	・勝敗を競う楽しさや喜びを味わい、作戦や状況に応じた技能や仲間と連携した動きを高めてゲームが展開できる。	①観察 ②観察 ③テスト ④ワークシート	A B C A B C A B C A B C				
3 学期	第5回定期試験	・球技選択 バスケ、バレー、バドミントン、卓球、テニス、サッカー、ソフトボール ・体育理論	・球技選択 勝敗を競う楽しさや喜びを味わい、作戦や状況に応じた技能や仲間と連携した動きを高めてゲームが展開できる。 ・体育理論 生涯豊かなスポーツライフを送る上で必要となるスポーツに関する科学的知識を身につける。	①観察 ②観察 ③テスト ④ワークシート	A B C A B C A B C A B C				
検定資格(時期)		なし							
諸費用(予定)		なし							
履修にあたって		チャイム前には整列をし、大きな声で挨拶・体操をするところから体育の授業は始まります。お互いに100%で授業に臨みましょう。							

平成30年度 年間シラバス (生徒配布用)

教科・科目		コミュ英語Ⅲ	単位	4	履修区分	必履修	
対象学年・類型・コース		3年 普通科					
使用教科書		(コⅢ321) Vivid English Communication Ⅲ (第一学習社)					
副教材		Vivid English Communication Ⅲ Work & Drill DataBase1700 英単語熟語 (授業内小テスト) Vintage (授業内小テスト) Mileage Reader (授業内速読テキスト)					
目標とする生徒の将来像		ア. 英文を読み、書かれている内容を理解し、その内容を簡潔にまとめることができる。 イ. 英語での対話や説明文などを聞いて、その概要をつかむことができる。 ウ. 自分の意見を相手に伝えたり、相手の意見を聞いて理解したりできる。 エ. 得た情報や自分の考えについて、簡単な文章で書き表すことができる。					
評価の観点		定期考査80%・観点別評価20%・提出物・授業に対する積極性・小テスト・標準考査					
学期	期間	単元・教材	主たる目標・付けたい力			評価法	自己評価
1 学期	第1 回 定期 試験	LESSON 1 Happy Nations LESSON 2 "Gamification" : Games May Save the World	<ul style="list-style-type: none"> ・コスタリカとブータンの例から、幸福を測る指標について読み取ることができる。 ・幸福であるとはどういうことか、自ら考えることができる。 ・自分に幸福を感じさせる物や日本国民を幸せにするための案を発表する。 ・助動詞+have+過去分詞, 独立不定詞を理解し, 文を作ることができる。 ・「ゲーミフィケーション」の理論と, それが私たちの生活に活用されている例を読み取ることができる。 ・オンラインゲームや節電方法について発表することができる。 ・省略, 無生物主語を理解し, 文を作ることができる。 				A B C A B C A B C A B C
	第2 回 定期 試験	LESSON 3 Spider Silk Spun into Violin Strings LESSON 4 A Girl Goes on Dancing	<ul style="list-style-type: none"> ・クモの糸でできた弦が使われたバイオリンの特徴について読み取る。 ・クモの糸のもつ可能性について自ら考えることができる。 ・自然界と産業界の結びつきを考える。 ・代動詞, 部分否定を理解し, 文を作ることができる。 ・菅井円加さんの活躍について読み取ることができる。 ・菅井円加さんのバレエに取り組む姿勢について自ら考えることができる。 ・自分の夢について発表する。 ・完了形 (受け身), 分詞構文 (過去分詞) を理解し, 文を作ることができる。 				A B C A B C A B C A B C
2 学期	第3 回 定期 試験	LESSON 5: Can Cellphone Recycling Help African Gorillas? LESSON 6: Gagaku, the Music of the Universe	<ul style="list-style-type: none"> ・携帯電話のリサイクルとコンゴのゴリラの関わりを読み取ることができる。 ・生物や環境を守る取り組みについて自ら考えることができる。 ・It is said that ..., 比較級+and+比較級を理解し, 文を作ることができる。 ・東儀秀樹さんの雅楽と日本文化についての考え方を読み取る。 ・自国の文化に対する理解を深め, 雅楽の魅力について考える。 ・日本の伝統音楽や伝統芸能について発表する。 ・分詞構文 (完了形), 関係副詞の非制限用法を理解し, 文を作ることができる。 				A B C A B C A B C
	第4 回 定期 試験	LESSON 7 Ethymology: Wonders of Words LESSON 8 A Lesson from Steve Job' s Life	<ul style="list-style-type: none"> ・語の歴史や起源について読み取る。 ・英単語の語源や語義変化について考える。 ・英単語に関して自分のもっている知識を発表する。 ・文修飾副詞, 準否定語を理解し, 文を作ることができる。 ・スティーブ・ジョブズの生き方や考え方を読み取る。 ・自分の人生を生き抜くことの大切さについて自ら考える。 ・自分にとって特別な人や印象的な出来事を発表する。 ・more A than B, 強調構文を理解し文を作ることができる。 				A B C A B C A B C A B C
検定	英語検定 (希望者: 6月・10月・1月)						
履修にあ たって	英語を用いて積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度を育み、社会生活に活用できるようにする。 ・配付されたプリントをファイルにしっかり管理する。・辞書等授業で使うものは必ず持ってくる。 ・指示された課題や宿題をしっかりと提出日までに行う。・小テストには計画的に学習し、取り組む。						

科目	英語表現Ⅱ	単位数	2単位	学年	3年	学科	普通科	コース	—	
使用教科書	MY WAY Ⅱ					コード	15 三省堂 英Ⅱ 303			
副教材等	Change the World basic, Listening Box3									
学習の到達目標	・英語を通じて、積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度を育成するとともに、事実や意見などを多様な観点から考察し、論理の展開や表現の工夫をしながら伝える能力を養う。具体的な言語活動は以下の通り。 ア. 英文を読み、書かれている内容を理解し、その内容を簡潔にまとめることができる。 イ. 学んだことや経験したことをもとに、自分の意見を相手に伝えたり、相手の意見を理解することができる。 ウ. 得た情報や自分の考えについて、簡単な文章で書き表すことができる。									
評価方法	定期試験80% / 観点20%(①提出物・②授業内テスト・③授業態度・④標準考査)									

学期	考査	単元名	主な学習内容と評価のポイント	並行教材	評価方法	
1 学期	第1 回定期考査	Lesson 1	○さまざまな時制の表現の用法を含む例文を暗唱できる。 ○文法項目を用いた問題を解くことができる。 ○既習の文法表現を用いて、与えられた主題について書くことができる。	Change the World basic-1, Listening Box3-1	定期考査 および ①②③④	
		Lesson 2	○さまざまな時制の表現の用法を含む例文を暗唱できる。 ○文法項目を用いた問題を解くことができる。 ○既習の文法表現を用いて、与えられた主題について書くことができる。	Change the World basic-2, Listening Box3-2		
		Lesson 3	○さまざまな助動詞を含む例文を暗唱できる。 ○文法項目を用いた問題を解くことができる。 ○既習の文法表現を用いて、与えられた主題について書くことができる。	Change the World basic-3, Listening Box3-3		
	第2 回定期考査	Lesson 4	○さまざまな助動詞の表現の用法を含む例文を暗唱できる。 ○文法項目を用いた問題を解くことができる。 ○既習の文法表現を用いて、与えられた主題について書くことができる。	Change the World basic-4, Listening Box3-4		
		Lesson 5	○さまざまな受動態の表現の用法を含む例文を暗唱できる。 ○文法項目を用いた問題を解くことができる。 ○既習の文法表現を用いて、与えられた主題について書くことができる。	Change the World basic-5, Listening Box3-5		定期考査 および ①②③
		Lesson 6	○未来完了形／その他の完了形進行形の用法を含む例文を暗唱できる。 ○文法項目を用いた問題を解くことができる。 ○既習の文法表現を用いて、与えられた主題について書くことができる。	Change the World basic-6, Listening Box3-6		
2 学期	第3 回定期考査	Lesson 7	○助動詞1(義務・必要など)の用法を含む例文を暗唱できる。 ○文法項目を用いた問題を解くことができる。 ○既習の文法表現を用いて、与えられた主題について書くことができる。	Change the World basic-7, Listening Box3-7	定期考査 および ①②③④	
		Lesson 8	○助動詞2(過去の習慣／助動詞を用いた慣用表現)の用法を含む例文を暗唱できる。 ○文法項目を用いた問題を解くことができる。 ○既習の文法表現を用いて、与えられた主題について書くことができる。	Change the World basic-8, Listening Box3-8		
		Lesson 9	○さまざまな受動態の表現の用法を含む例文を暗唱できる。 ○文法項目を用いた問題を解くことができる。 ○既習の文法表現を用いて、与えられた主題について書くことができる。	Change the World basic-9, Listening Box3-9		
第4 回定期考査	Lesson 10	○自動詞＋不定詞／SVO＋不定詞の用法を含む例文を暗唱できる。 ○文法項目を用いた問題を解くことができる。 ○既習の文法表現を用いて、与えられた主題について書くことができる。	Change the World basic-10, Listening Box3-10	定期考査 および ①②③		
	Lesson 11	○比較級・最上級などの慣用表現を含む例文を暗唱できる。 ○文法項目を用いた問題を解くことができる。 ○既習の文法表現を用いて、与えられた主題について書くことができる。	Change the World basic-11, Listening Box3-11			
	Lesson 12	○関係詞の非制限用法／複合関係詞動名詞を含む例文を暗唱できる。 ○文法項目を用いた問題を解くことができる。 ○既習の文法表現を用いて、与えられた主題について書くことができる。	Change the World basic-12, Listening Box3-12			
3 学期	第5 回定期考査	Lesson 13	○仮定法を用いたさまざまな表現を含む例文を暗唱できる。 ○文法項目を用いた問題を解くことができる。 ○既習の文法表現を用いて、与えられた主題について書くことができる。	Change the World basic-13, Listening Box3-13	定期考査 および ①②③④	
		Lesson 14	○間接話法／否定表現を含む例文を暗唱できる。 ○文法項目を用いた問題を解くことができる。 ○既習の文法表現を用いて、与えられた主題について書くことができる。	Change the World basic-14, Listening Box3-14		

評価の観点	・関心・意欲・態度 コミュニケーションに関心をもち、積極的に言語活動を行い、コミュニケーションを図ろうとする。 ・表現の能力 日常的な話題について、情報や考えなど伝えたいことを英語で話したり、書いたりして表現する。 ・理解の能力 日常的な話題について、英語を聞いたり読んだりして、情報や考えなど相手が伝えようとすることを理解する。 ・知識・理解 日常的な話題についての英語の学習を通して、言語やその運用についての知識を身につけるとともに、その背景にある文化などを理解している。
-------	---

平成30年度 年間シラバス (生徒配布用)

教科・科目		数学Ⅲ		単位	7	履修区分	必修修	必修	選択
対象学年・類型・コース		3年普通科 理系							
使用教科書		数研出版 新編 数学Ⅲ 改訂版							
目標とする生徒の将来像		<ul style="list-style-type: none"> ・基礎的な計算力と、基本的な問題解決能力が身についている。 ・数学を利用して、身近な事象を考察する力が身についている。 							
評価の観点		<ul style="list-style-type: none"> ・定期考査による評価80点分 ・授業の取り組み姿勢、課題提出、小テストの結果を総合的に考慮した20点分 							
学期	期間	単元・教材	主たる目標・付きたい力				主たる評価の観点・方法	自己評価	
1 学期	第1回 定期試験	第1章 複素数平面 第2章 式と曲線	<ul style="list-style-type: none"> ・複素数平面を考えることにより、複素数平面の図形的側面が明らかになることを理解する。 ・複素数の和、差、実数倍の複素数平面における図形的意味を理解する。 ・極形式の有用性を理解し、乗法と除法の図形的意味を理解する。 ・ド・モアブルの定理を利用して、複素数のn乗を計算することが出来る。 ・様々な条件から2次曲線の方程式を求められる。 ・2次曲線に関して、それぞれの特徴的な点や直線を求めることができる。 					A ・ B ・ C	
	第2回 定期試験	第3章 関数 第4章 極限	<ul style="list-style-type: none"> ・分数関数、無理関数のグラフを書くことができる。 ・合成関数の定義や手順を理解し、種々の関数の合成関数を求めることができる。 ・数列や関数の収束や発散を調べることができる。 ・関数の連続性、不連続性を判断することができる。 					A ・ B ・ C	
2 学期	第3回 定期試験	第5章 微分法 第6章 微分法の応用	<ul style="list-style-type: none"> ・自然対数の底eの定義と、対数関数の導関数を理解し、対数関数を含む種々の関数の導関数を計算できる。 ・種々の接線の方程式を求めることが出来る。 ・平均値の定理を利用して、不等式を証明することが出来る。 					A ・ B ・ C	
	第4回 定期試験	第7章 積分法とその応用	<ul style="list-style-type: none"> ・不定積分の定義や性質を理解し、それを利用して種々の関数の不定積分を計算できる。 ・定積分が図形の計量に関して有用であることを認識している。 ・回転体の体積を求めることができる。 					A ・ B ・ C	
3 学期	第5回 定期試験	総合問題演習	<ul style="list-style-type: none"> ・今までの授業で培った知識を活用して、センター試験や大学入試問題を解く。 					A ・ B ・ C	
検定資格 (時期)		数学検定(準1級程度)							
履修にあたって		高校3年間の総仕上げになります。高校の数学はすべて内容がつながっていますので、しっかりと復習をしておきましょう。特に基本的な計算は訓練をしておくことが大切です。							

平成30年度 年間シラバス (生徒配布用)

教科・科目	国語・国語表現	単位	2	履修区分	必修修 ・ 必修 (選択)
対象学年・類型・コース	3年 普通科				
使用教科書	高等学校 改訂版 国語表現 第一学習社				
目標とする生徒の将来像	<ul style="list-style-type: none"> ・国語で適切、かつ効果的に表現できる生徒 ・自ら進んで表現することで、国語力の向上や社会生活の充実を図る生徒 ・「伝え合う力」を生活に活かし、思考力や想像力を伸ばし、言語感覚を磨く生徒 				
評価の観点	<ul style="list-style-type: none"> ・授業、小テスト及び課題内容等で学習したことの定着を、定期試験並びに到達度確認テストの成果から判断 ・意欲的に授業に臨んでいるか観察 ・基礎学力の定着を、ノート、小テスト、課題学習等の成果から判断 ・伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項を、授業全般で確認 				
学期	期間	単元・教材	主たる目標・付けたい力	主たる評価の観点・方法	自己評価
1 学期	第1回定期試験	<ul style="list-style-type: none"> ・写真からストーリーを創る ・写真に五七五と付ける ・誕生月の詩を選ぶ 	<ul style="list-style-type: none"> ・自己独自のストーリーを創る ・写真を見て五七五で表現 ・イメージに合った詩を選ぶ 	授業中の姿勢や課題の状況 定期考査	A B C
	第2回定期試験	<ul style="list-style-type: none"> ・文章を書く意味 ・文章の書き方 ・わかりやすい表現 ・表現の工夫 ・描写の工夫 	<ul style="list-style-type: none"> ・文章を書く意味を考える ・基本的な書き方で書く ・分かりやすい文章を書く ・表現技法を理解する ・描写の硬化を理解する 	授業中の姿勢や課題の状況 定期考査	A B C
2 学期	第3回定期試験	<ul style="list-style-type: none"> ・「言葉にする」から始めよう ・相手理解は聞くことから ・メールか手紙か ・手紙を書く 	<ul style="list-style-type: none"> ・自分の考えを言葉にして相手に伝える ・聞くことの意義を考える ・手紙とメールの長所を考える ・手紙の価値と必要性を理解する 	授業中の態度や課題の状況 話し合いの姿勢 定期考査 夏期休業課題	A B C
	第4回定期試験	<ul style="list-style-type: none"> ・想像の旅 ・紹介文・宣伝文を書く ・パンフレットを作る 	<ul style="list-style-type: none"> ・広告におけるコピーの目的と効果を理解する ・紹介文、宣伝文を理解する ・主体的に情報を発信することの必要性を理解する 	授業中の態度や課題の状況 話し合いの姿勢 定期考査	A B C
3 学期	第5回定期試験	<ul style="list-style-type: none"> ・記録文を書く ・レポートを書く ・資料を編集する ・考えを発表する 	<ul style="list-style-type: none"> ・記録文の基本的な形式を理解し、実際に書く ・レポートの書き方を身につけ、実際に書く ・データを整理、編集する方法を身につけ、実際に編集する ・スピーチの形式を理解し、実際に発表する 	授業中の態度や課題の状況 話し合いや発表の姿勢 定期考査 冬期休業課題	A B C
	検定資格(時期) 諸費用(予定)	特になし			
	履修にあたって	「日本語」を使うことはできるが、「正確に使うこと」は難しい。 そこで、「より一層伝わる表現」を模索しながら、課題等への取り組みを重視していくので、授業にきちんと取り組む姿勢を維持することを心掛ける。			

平成30年度 年間シラバス (生徒配布用)

教科・科目		数学探求	単位	5	履修区分	必履修	・必修	・選択
対象学年・類型・コース		3年普通科 理系						
使用教科書		数研出版 新編 数学I 改訂版 数研出版 新編 数学A 改訂版 数研出版 新編 数学II 改訂版 数研出版 新編 数学B 改訂版 数研出版 トライEX 数学演習IA・IIB						
目標とする生徒の将来像		・基礎的な計算力と、基本的な問題解決能力が身についている。 ・数学を利用して、身近な事象を考察する力が身についている。						
評価の観点		・定期考査による評価80点分 ・授業の取り組み姿勢、課題提出、小テストの結果を総合的に考慮した20点分						
学期	期間	単元・教材	主たる目標・付けたい力	主たる評価の観点・方法	自己評価			
1 学期	第1回定期試験	数学I (トライEX) 第1章 数と式 第2章 集合と命題 第3章 2次関数 第4章 図形と計量 第5章 データの分析	・進学を考えた数学の総合問題演習で、各単元における重要事項を理解し、種々の問題を解くことができる。	・各単元の重要事項が理解できているかの確認。 ・題意を読み取り、数学的に表現をすることが出来るかの確認。 ・課題の取り組み状況の確認。	A・B・C A・B・C A・B・C A・B・C A・B・C			
	第2回定期試験	数学A (トライEX) 第6章 場合の数と確率 第7章 図形の性質 第8章 整数の性質	同上	同上	A・B・C A・B・C A・B・C			
2 学期	第3回定期試験	数学II (トライEX) 第9章 複素数と方程式 第10章 図形と方程式 第11章 三角関数	同上	同上	A・B・C A・B・C A・B・C			
	第4回定期試験	数学II(トライEX) 第12章 指数関数・対数関数 第13章 微分法・積分法 数学II(トライEX) 第14章 ベクトル 第15章 数列	同上	同上	A・B・C A・B・C A・B・C A・B・C			
3 学期	第5回定期試験	数学I・A・II・B総復習	同上	同上	A・B・C			
検定資格(時期)		数学検定(2級・準2級程度)						
・ 納費用(予定)								
履修にあたって		1年生、2年生で扱ってきた数学の内容の復習になります。問題演習が主になりますが、適宜教科書等を活用し、重要事項の確認を心がけてください。高校数学のつながりを意識して取り組んでみましょう。						

平成30年度 年間シラバス (生徒配布用)

教科・科目		理科・物理	単位	5	履修区分	必履修 ・ 必修	○ 選択
対象学年・類型・コース		3年・普通科・理系					
使用教科書		東京書籍 「改訂 物理」(物理308)					
目標とする生徒の将来像		<ul style="list-style-type: none"> ・興味・関心と探究心をもって自然の事物・現象を物理学的に考察できる生徒。 ・目的意識をもって観察・実験を行い、結果から新たな発見を見いだそうとする生徒。 					
評価の観点		<ul style="list-style-type: none"> ① 【関心・意欲・態度】 <ul style="list-style-type: none"> ・学習活動に積極的に参加したか。 ・提出物の作成に意欲的に取り組んだか。 ② 【思考・判断】 <ul style="list-style-type: none"> ・物理学的思考の「過程」を行えているか。 【実験の技能】 <ul style="list-style-type: none"> ・観察・実験を安全に遂行できたか。 ・それぞれの操作の意味を理解し正確にできたか。 ③ 【知識・理解】 <ul style="list-style-type: none"> ・物理学について、基本的な知識を身につけることができたか。 					
学期	期間	単元・教材	主たる目標・付けたい力	主たる評価の観点・方法	自己評価		
1 学期	第1回 定期試験	1編 さまざまな運動 (1) 剛体にはたらく力のつり合い ～ (5) 運動量	<ul style="list-style-type: none"> ・質点と剛体について、またその運動について説明できる。 ・日常に見られる円運動・天体の運動・単振動を通して、力の性質や運動との関わりについて考察できる。 ・力積・運動量など基本的な概念を学び、運動量保存の法則について成立条件を含めて正しく知識を身につけ活用できる。 	<ul style="list-style-type: none"> ① 観察・提出物 ② 観察・試験 ③ 観察・提出物 ④ 定期試験 	<ul style="list-style-type: none"> A B C A B C A B C A B C 		
	第2回 定期試験	1編 さまざまな運動 (6) 気体分子の運動と圧力 (7) 気体の状態変化	<ul style="list-style-type: none"> ・気体の分子運動・圧力・温度・内部エネルギーの関係について説明できる。 	<ul style="list-style-type: none"> ① 観察・提出物 ② 観察・試験 ③ 観察・提出物 ④ 定期試験 	<ul style="list-style-type: none"> A B C A B C A B C A B C 		
2 学期	第3回 定期試験	2編 波	<ul style="list-style-type: none"> ・波の基本性質について説明できる。また音や光が波としての性質をもつことをから身の回りの現象を捉えることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ① 観察・提出物 ② 観察・試験 ③ 観察・提出物 ④ 定期試験 	<ul style="list-style-type: none"> A B C A B C A B C A B C 		
	第4回 定期試験	3編 電気と磁気 4編 原子	<ul style="list-style-type: none"> ・電場・電流・磁場に関する現象について、用語を用いて説明できる。 ・電子の電荷と質量、スペクトルと電子のエネルギー準位との関係について説明できる。 	<ul style="list-style-type: none"> ① 観察・提出物 ② 観察・試験 ③ 観察・提出物 ④ 定期試験 	<ul style="list-style-type: none"> A B C A B C A B C A B C 		
3 学期	第5回 定期試験	総合問題演習	<ul style="list-style-type: none"> ・これまでに学んだ物理の基本概念・法則を活用することができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ① 観察・提出物 ② 観察・試験 ④ 定期試験 	<ul style="list-style-type: none"> A B C A B C A B C 		
検定資格		なし					
履修にあたって		<p>答えより、なぜそのような答えを導き出せるのかといった過程に意味があります。公式や法則を丸暗記といった学習ではなく、なぜその公式を使うのか、どういった法則なのかを「説明できる」を目標に学習を行ってください。問題演習の際も、式と答えだけではなく、言葉でその式を使う根拠や、説明を加えるよう心がけましょう。</p>					

平成30年度 年間シラバス (生徒配布用)

教科・科目		理科・生物	単位	5	履修区分	必修	必修	選択	
対象学年・類型・コース		3年普通科 理系							
使用教科書		東京書籍「生物」(生物 301)							
目標とする生徒の将来像		日常生活や社会との関連を図りながら生物や生物現象への関心を高め、目的意識をもって観察、実験などを行い、生物学的に探究する能力と態度を育てるとともに、生物学の基本的な概念や原理・法則を理解させ、科学的な見方や考え方を養う。							
評価の観点		①関心・意欲・態度：授業や実験に意欲的に取り組み、自然界の法則性を追求する姿勢。 ②科学的な思考・表現：実験や観察から科学性・法則性を見だし、考え、生徒自身の言葉で表現を行う。 ③実験・観察の技能：実験や観察を、定められた方法で正しく実施し、目的に沿った結果を導く能力。 ④知識・理解：実験や観察より導かれる理論や原理を理解し、習得する能力。							
学期	期間	単元・教材	主たる目標・付けたい力	主たる評価の観点・方法	自己評価				
1 学期	第1回定期試験	第1編 生命現象と物質 1章 生体物質と細胞 2章 生命現象を支えるタンパク質 3章 代謝とエネルギー	<ul style="list-style-type: none"> 細胞の構成物質とその構造及び働きがわかる。 マイクロメーターが使える。 タンパク質の構造やはたらきがわかる。 ATPのエネルギーの変化と利用のしくみ。 呼吸商の意味。 光合成の仕組みが解明された歴史。 	①授業態度・提出物 5 ②実験レポート 5 ② 定期考査 25 ③実験レポート 10 ③ 定期考査 20 ④定期考査 25 ④ ワークシート 10					
	第2回定期試験	第2編 遺伝子のはたらき 1章 遺伝情報の発現 メセルソンとスタールの実験 2章 遺伝子の発現調節 3章 バイオテクノロジー	<ul style="list-style-type: none"> DNAの複製や遺伝子発現のしくみ、およびDNAの塩基配列変化に伴う突然変異。 DNAの半保存的複製を発見した実験。 遺伝子発現のしくみと細胞分化の関わり。 バイオテクノロジー。 遺伝子治療について。 	①授業態度・提出物 5 ②実験レポート 5 ② 定期考査 25 ③実験レポート 10 ③ 定期考査 20 ④定期考査 25 ④ ワークシート 10					
2 学期	3回定期試験	第3編 生殖と発生 1章 生物の生殖と配偶子の形成 2章 動物の発生 ウニの発生 3章 動物の発生のしくみ	<ul style="list-style-type: none"> 生物が同じ種を残すしくみ。 減数分裂を観察する。 独立の場合、連鎖の場合、それぞれのF₂分離比求める。 動物の発生と遺伝子発現について。 細胞の初期化。 ウニの発生過程を観察する。 胚発生のしくみや遺伝子。 	①授業態度・提出物 5 ②実験レポート 5 ② 定期考査 25 ③実験レポート 10 ③ 定期考査 20 ④定期考査 25 ④ ワークシート 10					
	第4回定期試験	4章 植物の発生 花の構造とABCモデル 第4編 生物の環境応答 1章 動物の刺激の受容と反応 2章 動物の行動 3章 植物の環境応答	<ul style="list-style-type: none"> 葉・茎が分化するしくみを学習する。 動物が体内外の情報を得て反応を起こすしくみ。 動物のいろいろな行動とそのしくみについて学習する。 光屈性。 花成ホルモンの同定過程。 	①授業態度・提出物 5 ②実験レポート 5 ② 定期考査 25 ③実験レポート 10 ③ 定期考査 20 ④定期考査 25 ④ ワークシート 10					
履修にあたって		理科の教科の本質的な流れとして、実験や観察から分かったことを偏見無く考え、表現することが大切である。単に暗記に走らず、なぜこのような現象が起こるのか、その原理を追求してほしい。また、生物という自分の体について学習するため、生まれたときから死ぬときまで、長い間ためになる知識であることを踏まえて、意欲的に学習をしていただきたい。							

平成30年度 年間シラバス (生徒配布用)

教科・科目		理科・理科探究(物理)	単位	3	履修区分	必履修 ・ 必修	○ 選択
対象学年・類型・コース		3年・普通科・理系					
使用教科書		東京書籍 「改訂 新編物理基礎」(物基礎 312) 東京書籍 「改訂 物理」(物理 308)					
目標とする生徒の将来像		<ul style="list-style-type: none"> ・興味・関心と探究心をもって自然の事物・現象を物理学的に考察できる生徒。 ・目的意識をもって観察・実験を行い、結果から新たな発見を見いだそうとする生徒。 					
評価の観点		① 【関心・意欲・態度】 <ul style="list-style-type: none"> ・学習活動に積極的に参加したか。 ・提出物の作成に意欲的に取り組んだか。 ② 【思考・判断】 <ul style="list-style-type: none"> ・物理学的思考の「過程」を行えているか。 【実験の技能】 <ul style="list-style-type: none"> ・観察・実験を安全に遂行できたか。 ・それぞれの操作の意味を理解し正確にできたか。 ③ 【知識・理解】 <ul style="list-style-type: none"> ・物理学について、基本的な知識を身につけることができたか。 					
学期	期間	単元・教材	主たる目標・付けたい力	主たる評価の観点・方法	自己評価		
1学期	第1回定期試験	物理基礎 2 編さまざまな物理現象とエネルギー 2章 波	・波動に関する事象・現象についての基本的な概念を形成している。	①観察・提出物 ②観察・試験 ③観察・提出物 ④定期試験	A B C A B C A B C A B C		
	第2回定期試験	3章 電気 4章 エネルギー	<ul style="list-style-type: none"> ・電気や磁気に関する現象について、それらの基本的な概念を形成している。 ・人類が利用可能な様々なエネルギーの特性や利用について説明できる。 	①観察・提出物 ②観察・試験 ③観察・提出物 ④定期試験	A B C A B C A B C A B C		
2学期	第3回定期試験	物理 3編電気と磁気 1章 電場と電位 2章 電流	・電場と電位の関係やコンデンサーの性質、電流の知識に基づいて電場の様子をイメージし定量的に扱うことができる。	①観察・提出物 ②観察・試験 ③観察・提出物 ④定期試験	A B C A B C A B C A B C		
	第4回定期試験	3編電気と磁気 3章 電流と磁場 4章 電磁誘導と電磁波	<ul style="list-style-type: none"> ・電流と磁場の関係について基本的な概念を身につけている。 ・電場と磁場の相互作用によるエネルギー変換が発電機に利用されていることを説明できる。 	①観察・提出物 ②観察・試験 ③観察・提出物 ④定期試験	A B C A B C A B C A B C		
3学期	第5回定期試験	総合問題演習	・これまでに学んだ物理の基本概念・法則を活用することができる。	①観察・提出物 ②観察・試験 ④定期試験	A B C A B C A B C		
検定資格		なし					
履修にあたって		答えより、なぜそのような答えを導き出せるのかといった過程に意味があります。公式や法則を丸暗記といった学習ではなく、なぜその公式を使うのか、どういった法則なのかを「説明できる」を目標に学習を行ってください。問題演習の際も、式と答えだけではなく、言葉でその式を使う根拠や、説明を加えるよう心がけましょう。					

平成30年度 年間シラバス (生徒配布用)

教科・科目		理科	単位	3	履修区分	必修・選択	
対象学年・類型・コース		3年 普通科・理系					
使用教科書		『新編 化学』東京書籍 (化学302)					
副教材		なし					
目標とする生徒の将来像		教科書レベルの問題をしっかりと理解し、自分の力で解けるようにしたうえで、複合問題などの応用問題の解決能力を身につける。					
評価の観点		①【関心・意欲・態度】化学や化学現象について関心をもち、意欲的に考えるとともに、科学的な見方や考え方を身につけ、グループ討議に積極的に参加する。 ②【思考・判断・表現】化学や化学現象を科学的に考察し、的確に表現し、発表出来る。 ③【観察・実験の技能】化学や化学現象について観察・実験の基本操作を習得する。 ④【知識・理解】化学や化学現象について、基本的な知識を身につけ、発展的な応用ができる。(小テストや定期考査)					
学期	期間	単元・教材	主たる目標・付きたい力	主たる評価の観点・方法 ※テスト=定期考査含	自己評価		
1 学期	第1回定期試験	・化学結合と固体の構造	・結晶の単位格子の構造と種類について関心を持ち理解する。	①②④ノート・発言 ④テスト ①授業態度の観察	A B C A B C A B C		
	第2回定期試験	・化学反応熱と光 ・ヘスの法則の検証	・化学反応に伴う熱・光について理解する。 ・熱の発生・吸収やその表し方、反応熱について理解する。 ・エネルギーとしての光も含めてヘスの法則を理解し、熱エネルギーを計算できるようにする。 ・ヘスの法則を検証する。	①②④ノート・発言 ④テスト ①授業態度の観察等 ②③実験レポート (ヘスの法則の検証)	A B C A B C A B C A B C		
2 学期	第3回定期試験	・電池と電気分解 ・化学反応の速さ ・化学平衡	・電池の原理・法則について理解する。 ・ファラデーの法則を理解し、計算問題を解けるようにする。 ・化学平衡の意味を理解し、ルシャトリエの原理を習得し計算する。	①②④ノート・発言 ④テスト ①授業態度の観察等	A B C A B C A B C		
	第4回定期試験	・電解質水溶液の平衡 ・有機化合物の基礎 ・脂肪族化合物	・弱酸・弱塩基の電離平衡と電離度を習得し、計算できるようにする。 ・有機化合物の特徴や反応性について、理解する。 ・代表的な個々の官能基の性質に対する知識を身につける。	①②④ノート・発言 ④テスト ①授業態度の観察等	A B C A B C A B C A B C		
3 学期	第5回定期試験	・芳香族化合物 ・有機化合物と人間生活	・油脂やセッケンなどの性質や反応性について理解し反応式が書ける。 ・有機化合物が人間生活にどのように関わっているか理解できる。	①②④ノート・発言 ④テスト ①授業態度の観察等	A B C A B C A B C		
検定資格(時期)		なし					
検定費用(予定)		なし					
履修にあたって		授業で指示された問題は必ず解けるようにする。 いつも「なぜ？」という疑問は持ち続け、自分で調べる。 問題集の問題は、完全に理解できるまで繰り返し解く。 定期試験、模擬試験の問題は必ず取って置き、間違えたところは必ず出来るようにする。					

平成30年度 年間シラバス (生徒配布用)

教科・科目		理科	単位	3	履修区分	必履修 ・ 必修	選択
対象学年・類型・コース		3年 普通科理系					
使用教科書		『改訂 生物基礎』東京書籍 (生基311)					
副教材							
目標とする生徒の将来像		遺伝子・健康・環境など、日常生活や社会とのかかわりを考えるために必要な科学的素養を高める。					
評価の観点		①【関心・意欲・態度】生物や生物現象について関心をもち、意欲的に考えとともに、科学的な見方や考え方を身につける。 ②【思考・判断・表現】生物や生物現象を科学的に考え、的確に説明する。 ③【観察・実験の技能】生物や生物現象について観察・実験の基本操作を習得する。 ④【知識・理解】生物や生物現象について、基本的な知識を身につける。					
学期	期間	単元・教材	主たる目標・付けたい力	主たる評価の観点・方法 ※テスト=定期考査含	自己評価		
1 学期	第1回定期試験	・植生の多様性と遷移 ・バイオームとその分布 ・植生の多様性と遷移	・植生は、年降水量と年間平均気温によって決まることを理解する。 ・植生の遷移について理解する。 ・バイオームと気候の関係について学ぶ。 ・日本のバイオーム(亜熱帯多雨林、照葉樹林、夏緑樹林、針葉樹林)について学ぶ。	① ④ノート・発言 ② テスト ① 授業態度の観察等 ① 学習記録表 ③ 観察レポート	A B C A B C A B C A B C A B C		
	第2回定期試験	・刺激の受容とその反応	・基本的な構造やしくみの他、分子レベルの知識も学ぶ。	①④ノート・発言 ②テスト ①授業態度の観察等 ①学習記録表 ③観察レポート	A B C A B C A B C A B C A B C		
2 学期	第3回定期試験	・遺伝子の発現について	・最新のバイオテクノロジーの手法の他、発生の過程との関連づけを行うためウニとカエルの発生も学ぶ	①④ノート・発言 ②テスト ①授業態度の観察等 ①学習記録表 ③観察レポート	A B C A B C A B C A B C A B C		
	第4回定期試験	・免疫の応用	・身近な免疫反応とその利用について学ぶ。 ・適応免疫の仕組みを知る。	①④ノート・発言 ①学習記録表 ②テスト ③実験レポート	A B C A B C A B C A B C		
検定資格(時期) 諸費用(予定)		なし					
履修にあたって		授業で指示された問題は必ず解けるようにする。 いつも「なぜ？」という疑問は持ち続け、自分で調べる。 問題集の問題は、完全に理解できるまで繰り返し解く。 定期試験、模擬試験の問題は必ず取って置き、間違えたところは必ず出来るようにする。					